

【美術】

～ClassPad.net の授業支援機能を活用する～

作品発表を通じて、生徒の成長を促す授業

感想を送り合い、生徒相互での成長を促す。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：クラスメートの発表から、他者を認め、学び合う気持ちを育む。

生徒向けの目標：制作物の発表を通して制作意図・プロセスを他者に伝えるプレゼンスキルを磨くとともに、クラスメートの作品から学びになる点を確認する。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・ **評価／評定を効率化**：提出されたワークシートの内容を教員が見て、生徒の学習の深まりを確認、評価するという手順を、すべて ClassPad.net 上で完結できる。教員から生徒への評価だけでなく、生徒から生徒への評価も可視化され、お互いへの助言や課題の指摘を共有しやすくなる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

本日の流れ

- ・ 完成した作品を発表しよう！
- ・ クラスメートの作品を鑑賞し、感想を送り合おう！

概要の説明

完成した作品を発表する、クラスメートの作品を鑑賞して感想を送り合うといった授業の流れを伝える。

step2

【発表の仕方】

- ・ 発表時は、前に出て堂々と話しましょう！
- ・ 作品をみんなに見せながら、
 - ① 工夫した点
 - ② 難しかった点などを話してください。
- ・ 作品の写真をスクリーンに投影するので、**具体的に指し示しながら説明**しましょう！

発表の仕方のレクチャー

どんな風に発表するのかを説明、実演する。

発表で話して欲しい項目をテキストふせんにまとめ、授業支援機能で生徒に送信し、常に参照できるようにする。

step3

発表・鑑賞開始！

- ・ 発表者は、発表を聞きながらテキストふせんにメモを取りましょう。
- ・ また、別のテキストふせんに感想を書き、発表者に送ってあげましょう！
- **良いところを見つけ、なるべく具体的に書きましょう！**

発表・鑑賞の進行

クラスメートの前でひとりずつ（またはグループ単位で）作品発表を行う。鑑賞者は、作品を見た感想をテキストふせんに書き込み、発表者に送る。

生徒の作品写真を事前にカメラふせんやファイルふせんで用意し、電子黒板やプロジェクターで提示する。教員は、生徒の発表の様子を動画で撮影する。生徒には、クラスメートの作品を鑑賞した感想をテキストふせんに書き込ませ、発表した生徒に授業支援機能で送らせる。



step4

【ワークシート記入】

- ①今日の自分の発表
- ②クラスメートの作品の鑑賞

これらを振り返り、ワークシートを記入しましょう！
→ 記入できたら、先生に送信してください！

The screenshot shows a worksheet form with two main sections. The top section is titled '今日の発表について' (About today's presentation) and the bottom section is titled 'クラスメートの作品を鑑賞して' (Appreciating my classmate's work). Both sections have a large empty box for writing.

ワークシート記入

今日の自分の発表や、鑑賞を振り返り、ワークシートを記入する。

ワークシートを貼り付けたファイルふせんを授業支援機能で配布し、手描き機能で記入させた後、授業支援機能で回収する。

step5

【発展課題】

- ① 次回の授業までに、クラスメートが送ってくれた感想をすべて読みましょう！
- ② その中で、特に参考になったアドバイスや嬉しかった言葉に注目しましょう！
- ③ それらを作品に生かすためにはどんな工夫が必要かを考えて、次回の目標を立てましょう！（書いたら先生に送信）

参考・補足

クラスメートの作品や、他のクラスの生徒の完成作品を、ClassPad.net 内のフォルダでいつでも閲覧できることを知らせる。また、発展的な課題として、step3でクラスメートから送られた感想やアドバイスをもとに、次回作品の目標を立ててもらう。さらに、鑑賞をより楽しく深いものにする上で大切なことを示した動画を紹介する。

発展課題はテキストふせんに記載させ、授業支援機能で回収する。回収したものには、アドバイスやコメントをつけて返却するとよい。

また、「【永久保存版】美術作品 鑑賞の仕方【儒鳥風亭らでん/ホロライブ/切り抜き/hololive】」の URL

(<https://www.youtube.com/watch?v=uV4WL6-QM60>) を貼り付けたリンクふせんを生徒に共有し、視聴を促す。